

ボランティア活動

東日本大震災

ボランティアに参加して

清泉女学院では、8月上旬から9月にかけて学生74名と教職員6名が3班に分かれ、岩手県大槌町の災害ボランティアに参加しました。現地では、吉里吉里中学校でのゴミ拾い、菜の花プロジェクト、大槌保育園でのお手伝いなど様々な体験をしました。特に、全員が関わった「菜の花プロジェクト」は、瓦礫で覆われていた場所を片付け種をまくという、まさに復興を願う被災地のみなさんの思いを受けての活動でした。学生は、活動を通じて知り合った方々との心のつながり、絆の大切さを強く感じており、「人と人がつながる活動」に参加させていただいたことに感謝したいとの報告がありました。学生の思いを形にできるよう、ボランティアオ

フィスとして今後も支援していきたいと考えています。



気持ちに寄り添おう

人間学部3年 鳥居 愛美

実際に被災した町に立つてその景色を目の当たりにしたとき、「私たちがこれからしようとしているボランティアは本当に必要とされているのか」と不安に思いました。のほほんと毎日過ごしている私なんか来てはいけない場所だったのではないかとさえ思いました。ボランティアと聞くと、瓦礫撤去や物資を配るなど、人々の生活に直接つながることをイメージする人が多いと思います。しかし子どもたちや現地の方々とふれあうなかで「人々の気持ちに寄り添うこと」は、確かに今必要とされているボランティアなのだと感じました。

住み慣れた場所から離れなくてはならなくなった人々、大切な人を亡くしてしまった人々が、少しでも前向きになれる、人と人とがつながっていくことの手助けになれるようなボランティアを、これから先も続けていきたいと思いました。

生きる強さ、負けな心

幼児教育科1年 小山 真奈美

今回、初めて被災地ボランティアに参加し、今までメディアでし

か知ることのなかった被災地に足を踏み入れたときに感じた衝撃は今でも忘れられません。また、地震や津波を体験した方々のお話をお聞きして、その悲惨さをよりリアルに感じました。一瞬の判断が命取りにもなるのだと思うと寒気がしますが、それでも人を助けようとする姿に目頭が熱くなりました。人を思いやる温かさは日本人だからなのではないでしょうか。被災地ボランティアでは生きる強さや何事にも負けない心を感じ、予期せぬ活力を頂きました。私はちっぽけな存在ですが、少しでもお役に立てましたら幸いです。

Let's Try ボランティア

障害者と交流し隊

人間学部3年 泉 志帆

昨年度の夏休み中、他4名のメンバーとともに東長野病院・のぞみ病棟の利用者さんとの交流に行ってきました。毎朝の挨拶から始まり、その日ごとのレクを行いました。鈴やタンバリンで音楽を奏でたり、踊ったりと賑やかなムードでした。最終日にはメンバーで作ったオーガنجーに鈴を縫い付けた楽器を利用者の皆さんにプレゼントし、音色を皆で楽しみました。

最初は緊張や戸惑いがありましたが、私たちが利用者さんを覚えていくうちに、利用者さんも私たちを覚えてくださっていることを肌で感じました。私たちが訪れた時に笑みを浮かべながら手をとつ

てください、嬉しい気持ちや歓迎されている気持ちが伝わってくるようでした。お友達になれたような気分です。とても嬉しく思いました。ボランティアという名目でも私たちの方が毎日学ばせてもらっている実感でできた活動でした。私たちを受け入れ、交流して下さったのぞみ病棟の皆様、本当にありがとうございます。

生涯学習センター

『父と暮せば』映画上映会

昨年11月10日、第2回映画上映会を実施しました。今回は、広島原爆について扱った『父と暮せば』（原作・井上ひさし、監督・黒木和夫）を学内で上映しました。日本が東日本大震災による福島原発の問題に揺れるなかで、原爆や核に関する地域の方々の関心は高く、162名にお集まりいた

センターの充実化に向けて

地域連携センターの今年度事業のひとつに、学内における体制について検討を進めてきたことがあげられます。大学・短大ともに地域の団体と学生・教員が共同して実施する企画が増加しており、それらに対応できる地域連携センターの体制整備が急務であると考



据えて、人材育成・地域貢献等をより促進するためのハード・ソフト・ヒューマンのそれぞれの側面の充実が大きな課題です。地域連携センター委員会を拡大し大学全体として地域連携センターの環境整備について検討する「地域連携センター検討会」にて話し合いを進めました。次年度につながる一歩を踏み出せることを期待しています。

(地域連携センター長 小林敏枝)

■韓国

漢陽（ハニヤン）
女子大学来日！

1月16～17日、姉妹大学の漢陽女子大学から、教員3名と学生30名が本学を訪れました。毎年6月に行っていたプログラムですが、今年度は東日本大震災の影響から1月になりました。

1日目は本学に到着後、マリオンホールにて歓迎会が行われ、引き続き学生による交流会がもたれました。長野を知ってもらおうと企画されたクイズ大会では、正解発表のたびに両校の学生が一喜一憂し、お互いの距離もぐっと近くなりました。宿泊は学生と教職員



のボランティアによるホームステイ。ハニヤンの学生にとって日本の家庭を知る良い機会になったと思います。

2日目は、日本文化を体験しました。まずは松代でそば打ち体験。自分たちで打ったそばの味は格別で「お店のそばよりおいしい」「そばはこうやってできるのか」など、いろいろな感想が聞かれました。午後は大学で茶道と書道を体験しました。

両校の学生が、文化の壁を越えて友情を築いた素敵な2日間になりました。両校の絆がより強くなるよう、活動を続けていければと思います。

盛り上がった交流会

国際Com科2年 荒井 姫子

私たち村田セミナーでは、歓迎会の準備を担当しました。どんなおもてなしをしたら韓国の学生たちが喜んでくれるのか、職員の方や先生方と話し合い、準備が進んでいきました。当日は、本学の学生も多く集まり、漢陽女子大学の学生との会話を楽しんでいました。私も、1か月留学で本学を訪れた学生や、漢陽女子大学に行った時に友達になった学生と再会できました。あつという間の1時間でしたが、大いに盛り上がり、村田セミナーでの最後の良い思い出になりました。

■フィリピン

フィリピン文化研修

昨年8月3～10日、10名の学生とともにフィリピン文化研修に行ってきました。具体的にはストリートチルドレン支援NGO「カールンガン・サ・エルマ」の施設訪問および子どもたちとの交流、エトン・インターナショナル・スクール訪問、第二次世界大戦の戦跡であるコレヒドール島の視察、マニラ市内の視察でした。

安全面や衛生面など不安に思っていたこともありましたが、実際に触れて自分の目で確かめてみると、思い描いていたものとは全く異なるフィリピンがそこにはありました。底抜けに明るく、また東南アジアで唯一のキリスト教国家であるからか、人々の優しき、相互扶助の精神、ホスピタリティには心癒やされるものがありました。



の交流を深めていけたらと考えています。

（幼児教育科准教授 田中秀明）

人の力を感じた異文化体験

幼児教育科2年 畔上 愛花

正直なところ、フィリピンはもっと発展しておらず、治安が悪いところだと思っていました。訪問した施設では人々が皆温かく迎えてくれ、心の温かさ、そして生きる力を感じることができました。

富裕層と貧困層にくっきり色分けされた社会でしたが、日本のように世知辛くなく、人々が皆笑顔で幸せそうであったことが一番印象に残っています。

なお、10月の学園祭では、訪問したカールンガンの子どもたちの自立支援プロジェクトとして、手作りのミサンガやポストカードなどのグッズを販売しました。今後ともさまざまな形で、フィリピンと

初めて大きな貧富の差を目の当たりにしました。その差に唖然としましたが、お金があれば豊かさにつながるわけではないと思います。現地の人と交流する中でたくさん素敵な笑顔が見られ、言葉はうまく通じず大変でしたが、笑顔とこころの温かさがあったからこそつながれたように思いました。この研修で学んだことを今後にかかしていきたいです。

平成24年度 誰でも勉強できる
生涯学習のさまざまな機会

「学びたい」という欲求は、年齢とは関係ありません。本学では、授業開放講座をはじめ公開講座など生涯学習のさまざまな機会を地域の方々に提供しています。申し込み方法や締め切り、スケジュール、受講料など詳細については地域連携センターにお問い合わせください。

■授業開放講座（春）4月6日（金）～7月30日（月）
受講料：各講座 10,000円（全15回）

	授業名	担当者
心理講座	心の科学	寺門正顕
	文化と心理学	田村俊輔・中澤保生
	生理心理学	寺門正顕
	道徳性心理学	田村俊輔
言語講座	English Pop Culture	中村洋一
	英語基礎Ⅰ	田村亮子
	英語基礎Ⅱ	田村亮子
	英語基礎Ⅳ	田村亮子
教養講座	総合講座	芝山 豊
	異文化理解	室井美稚子
	文化人類学	小泉真理
	音楽の世界 A	高橋正道
	英米児童文学	室井美稚子
	人間学 a	古橋昌尚
	人間学 b	田村亮子
	文化共生論	芝山 豊
	企業論	倉科壽男
	マスコミュニケーション	三島利徳・菊池公雄・横内勇敏
	アメリカ文化研究	古橋昌尚
	アメリカ地域研究	ベネディクト・ジョナサン
女と男の文芸論	玉城 司	

■公開講座

場所	講座名
長野県カレッジセンター （長野県元M.J.ホール）	ブレ初級「認知症予防脳トレ士」コース（5日10回）
	初級「認知症予防脳トレ士」コース（5日10回）
	美術史入門講座（3回）
	高齢者と上手につき合うためのヒント（2回）
	キリスト教芸術からのメッセージ（3回）
生涯学習センター （トイコ）	やさしい心理学シリーズ（5回）
	テストは必要か？
	子どもの心の発達について
	保育現場における「気になる」子どもの支援について
	保育現場における音楽指導のヒント
	アメリカン・フォークソングの世界
	芭蕉・蕪村・一茶の世界
	メディアを読み解く（2回）
	楽しい文章教室（2回）
	故事成語 第三弾
* 第14回映画を読む	

*は長野口キャンパス